

生きる道考える

ポイントを熱弁

長峰中 県P連会長 城村さん 講演

茅野

茅野市長峰中学校で20日、PTA講演会があった。県PTA連合会長で共育講演家の城村義人さんが「ほく・わたしの生きる道くわたしをとおして、誰かが幸せになる」と題して講演。全校生徒や保護者らに向け、生き方を考えるヒントや子の生き方を応援していくためのアドバイスなどを熱く伝えた。

城村さんはブライダル企画を通して接する高校生や自身の子どもたちなどとのエピソードを紹介しながら、生きる道を考える上で大切ないくつかのポイントを語った。

一緒に企画に取り組んだ高校生が夢だった職業に就けず別の職に就いたが、企画の1期生が残した言葉「誰かの幸せに尽くした時、その幸せを通して私も幸せになれる」という土台のもと、一生懸命に

動んでいるエピソードを紹介。その上で、「将来を決める時は『職業』よりも『生き方』を考えてほしい。職業は表現の違い。自分がどんな生き方をしたいか、こういう風

に生きていきたいというのを見つけてほしい」と伝えた。また、不登校になった自身の子どもの会話の中で城村さんが伝えた「答えと一緒に探して、見つけた答えを正解にしていこう」と言葉を紹介。「自分の答えを持ちすぎている時は疲れてしまうことがある。その人を大切に思いながら語り合う中で出た答えは、AでもBでもCでもいい。出た答えが正解になっていく」と話した。



長峰中の生徒と保護者に向け、生きる道を考える上で大切なことを伝える城村義人さん